

話^わつ^っ花^か (五)

鳥井まみ

ばらに囲まれて

踊ることがアイデンティティの街
 シュトラウスのワルツが流れ
 「ダンスしてこそ
 ウィーン人になれる！」
 オーストリアで
 オープンバルと呼ばれる舞踏会
 カップルは未婚の
 17歳から24歳のより抜きの男女
 「宝石をちりばめた
 ティアラは欠かせませんね」
 「そんな豪華なもの：
 純白のドレスは？

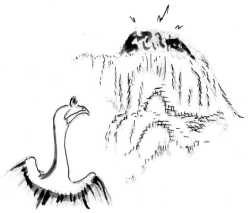
「それは体型が千差万別ですから」
 「自前なんですか」
 ヨーロッパの名家であった
 ハプスブルグ家が1869年に
 始めた帝国のなごり
 マリアテレジア女帝のころで
 子宝に恵まれた彼女
 「キレイですよ」
 娘たちにはぜひ細い腰に
 フレアーが揺れ動くスカートで
 踊らせたかったがワネットは
 マリアアントワネットは
 政略結婚で
 とうに嫁いでいました
 お隣のルイ王家のお妃さまに



良いことも悪いことも

ちよつと前には
思つてもみなかつた大噴火が
陸でも海でもみかけられます
太平洋上にある
30余の島々からなる
「小笠原諸島」
海底からの噴火で
「ドンガラガーン！」と溶岩が吹き上げた
鉄板をたたくような音じゃない
目玉パチクリ　腰ぬかすほどの
「ドンガラ　ガーン！」
もともとなつた島をのみこんで
2平方キロ近くまでになつた
岩だらけから
やがて芽生える草木
土地が増えるのは良いことだけど
同じころサンゴの密漁という
騒ぎもおこつて
カツオやマグロを狙つて
カツオ鳥も飛んでいる

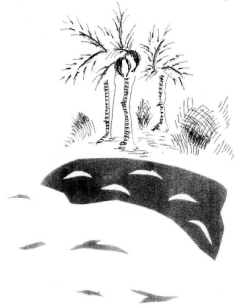
島周辺には
「近づかないように：」
危険情報が出ている
鳥類には適用されないの
「お先に住民に
させて頂きます」
噴火地域をユウユウと
カツオ鳥は散策している



私が喋らなかつたら

♪ 名も知らぬ 遠き島より
流れる椰子の実ひとつ
この歌詞の由来をたどってみると
意外なことが：
愛知県の伊良湖岬の浜辺に
椰子の実が流れ着いたのを
誰が見つけたか？
民俗学で著名な柳田国男なのか？
彼と友人だったのが
作詞者の島崎藤村
島崎はその情景を柳田から聞いて
歌詞にしてみました
「ボクに感謝しました：
言ったかどうか知らないけど
言ったとしたら線だよ
それって上目線だよ
「君こそ東北で
伝承や信仰、年中行事などを聞いてまわり
本にしたやないか」

「それで」
「座敷わらしなら可愛いけれど：
「座敷荒らしかな」
二人で笑いあつたそうです
口から耳に入つたのを筆にするのって
はしたないコトじゃあない
人のお喋りを
夕ネにして大きく実らせるのが
上手だっただけさ



命を搭載するマシン

ボタンひとつで飛んでいく
やっ！ サンドーボード
夢中でテレビにかじりついたのは
ずっと前のこと
鹿兒島は内之浦の発射台から
今にも打ち上げるロケット
「美しいフライトを！」
「成功を：「祈って瞬間を待った
と：19秒前になって中止だった
搭載している電池の点検
火薬に火を点ける装置など
ロケット自身がもつ管制室で
「オットー！」の判断のやり直し
かっ！アポロの時代
打ち上げ隊長のもと
大勢の人手と大掛かりな装置
発射台の下で決死隊が
やっ！きたこと
「モバイル管制 パソコン2台」
数人で行う

過去のサンダーボードそっくり
このたび子供らは
「まだかなー」と待っていた
「今日はダメー」
「次回の予定も延期」
延期だらけの発射だったが
さて
次世代の子供らは
どう見上げているかな



オペラ座の怪女力

バーブラ ストライサンド
 歌手であつて女優なら
 珍しくないけど
 映画監督やさまざまな
 場所で大活躍していた1973年
 彼女よりも売上が多かったのは
 シナトラとビートルズだけ
 その年は
 「最高のミディアムに巡り逢えたわ」
 ビーフステーキじゃない
 プロデュースする人のこと
 彼女が「愛のたそがれ」を
 歌つていたころ
 もう一人の男性が
 同じ曲をリリースしていた
 「ご一緒にされたらいかが？」
 伺いを立てたプロデュースの
 ニール・ダイヤモンドとの
 デュエットにあいなつた
 幸運の矢を突き当てた始まり

全米ヒットチャート一位
 「ミックポーション」的な伸びアルト
 「ミーンミーン」的な伸びアルト
 めつたにない猛暑のステージ
 ミュージカルの怪人「では
 「オペラ座の怪人」では
 主題曲を流して
 ハットのハットフー
 健在の彼女の鼻息
 いまだ荒いですぞ！



りんごの顔

質問に答えてくれたら
 お買物するとき助かるけど
 「告白してね」
 「未熟で蜜が入った肌だったら？」
 「ザラザラボコボコだったら？」
 「中身はたっぷり蜜だらけ」
 「りんごだけが知っている」
 「あなただけが知っている」
 「蜜があふれてる？」
 「さあ、どうかな」
 「成熟した実でも」
 「しょうがないのが」
 「切れ面が茶色になっ」
 「りんご研究所は日々掛合っ」
 「いや、品種を選び抜いていきます」
 「3日は白さを保つ」
 「新品種が登場！」

その名は「千雪」
 「世のオール女性も」
 「5歳のままでストッ」
 「無理だとわかっ」
 「みっ指ついでお願い！」
 「肌に合わせてお化粧品を」
 「未解決のままの事案ですが」
 「これがかなう日は？」

